

ゆるり



回想記

02 「祖国探親之旅」
株式会社 江山楼

04 画集「登あと」
久保 堅兒

05 歌集「みよこよみ」
大平 美代子

06 歴史書「北前船」
永田 信孝

07 料理本「謁ちゃんの献立表」
竹松 謁子

08 絵本「長崎由来の古典落語」
西村 仁

09 医療ハンドブック「食べる大切」
大場 章夫

10 エッセイ集「つれづれ記」
浅田 恵子

11 漫画「夏の日ピリオド」
吉里 正勝／吉田 直

追悼企画

水彩画家
松林 重宗

特集

昭和堂創業70周年に
感謝を込めて

生きてきた道、 生きていく道。

表紙／眼鏡橋を水彩スケッチする野上藤江さん



株式会社 昭和堂 | 「ゆるり」は長崎県内の主なコミュニティ施設に無料で配布しています。

自費出版サロンゆるり TEL.095-828-1790

本文より

◎國雄記（長男）

ちち・はは・きょうだい

両親は三男、三女、凸凹の子どもをみごとに「きょうだい」として世に送り出した。きょうだいはそれぞれ一カ所だけ、両親の良さを受けついでいる。そして「きょうだい束になっても両親には敵わない」ということだけは意見が一致している。

ふりかえると子供時代、学生時代、美少年（？）だった出前時代、その時々ピンチに次ぐピンチを、いつも大切な恩人に助けられた。創業時代の従業員さん、そして僕が家業に就いてからも多くのお客様と、出入りの業者の方々、恩師、先生、友人、弟妹、家族によって助けられ、支えられて今日に至った。善友との出会い、またその逆も。しかし彼らも僕の「水滸伝」には必要な登場人物だった。二度と戻れない人生、僕はずっと幸福だった。

◎玉英記（長女）

華僑の家族

私は、一九五〇年、王玉官と梅瑛の子どもとして生まれました。私の上には一九四二年生まれの長男國雄と四五年生まれの次男國英、四七生まれの三男國仁がいます。そして私の下には私と一つ違いの次女雪英、五四生まれの三女秀英がいて、賑やかな六人兄弟の長女として育ちました。父は福建省福州市から単身日本に渡ってきた中国人、母も上海から長崎にやってきた中国人です。つまり私たち兄弟姉妹は長崎で生まれ、日本の教育を受けて育った中国人というわけです。

明治になり鎖国が解けると、日本で一旗揚げようと大陸から渡って来る人たちが多くいました。父もその一人です。一九二七年、二歳の王玉官は単身で長崎にやって来ました。中国国籍を持ったまま外国に移住した中国人やその子孫は

「華僑」と呼ばれていました。

◎雪英記（次女）

祖国探親の旅へ

一九七三年二月、いよいよ念願かなって私たち母子も「探親」の旅に行けることになりました。それは母にとって、四三年というおよそ半世紀近い空白を埋める、自分探しの旅でした。神戸に知り合いが多い國雄のツテで、私たちは関西の華僑総会主催の旅団に参加することができました。長崎からは私たち二人だけで、あとは関西在住の華僑ばかりでした。二ヶ月間の旅の前半は北京、濟南、南京、上海、杭州など、中国の主要都市を鉄道でめぐる観光の旅、そして後半は各々の故郷に帰ることになっているのですが、私たちだけは、出身地が分からない母の「帰るべき故郷」そのものを探す旅でした。

◎秀英記（三女）

佐田家との縁

さだまさしさんとの縁は互いの親の代までさかのぼらなくてはなりません。まさしさんの父の佐田雅人さんと妻の喜代子さんはよく江山楼にちゃんぽんを食べに来ていたそうです。まさしさんが作った江山楼のイメージソング「秘伝」の歌詞の中に「はじめは小さな店だった 父ちゃんが植えた種を 母ちゃんが育てて そして あんちゃんが咲かせた華」という一節があります。江山楼の歴史はまさにこのとおりで、新地の裏通りの小さな店から始まりました。

私の記憶の中にある原風景は、長男の國雄がちゃんぽんを炊いて、次兄の國英が野菜を切って、末兄の國仁が出前に行く。姉たちも何人かの従業員と一緒に手伝い、母はデシヤップにいて全体を見渡している、というものです。



王家に伝わる媽媽の思い出の味の掲載



厨房で働く若き日の國雄さん



開店5年目の正月に、店先で従業員と共に家族で写真に納まった

人生八十数年の昶あと、懐かしいメモリアル

〈画集〉
昶あと

Ashiato

久保堅兒
Kenji Kubo

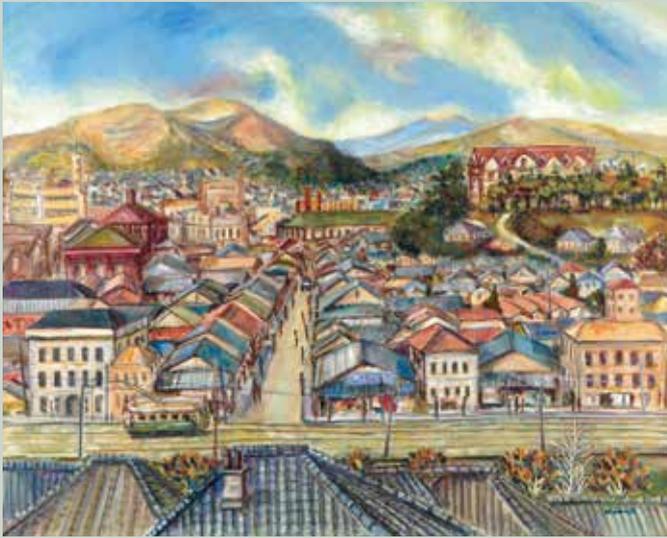
久保堅兒さんは、生まれ故郷にある香焼小学校を始めに、学校長として晴海台小学校で退任されるまで、40余年に渡り県内の小学校で教鞭をとり、多くの子供達を教え育んでこられました。

温厚篤実な方である一方、人一倍好奇心旺盛で、特に芸術や自然科学の分野において市井の域を超える業績を残されています。中でも絵画は、昭和38年県展美術協会賞を受賞される等、晩年まで多くの作品を生み出してこられました。

そうした久保さんの人生八十数年の昶あとの一部がメモリアルとして一冊にまとめられました。



■ 版型: 260×245
■ 頁数: 78頁
■ 製本: 上製本
■ 定価: 非売品



Profile

昭和6年10月30日生

職歴

昭和25年11月30日 小学校教諭になる

平成4年3月31日 定年退職

平成30年5月12日 没(86歳)



移ろいゆく時の流れを歌に託して

〈歌集〉 **みよこよみ**

大平 美代子

Miyoko Ohira

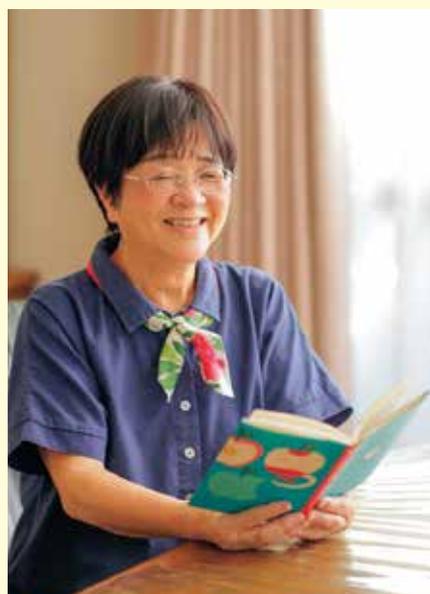
「ただぼんやりとながめていた風景や物事をじっくり観るようになったのは、短歌のおかげとつくづく実感している」と語る大平美代子さん。日本歌人クラブ全国短歌大会、九州ブロック短歌大会、NHK短歌大会などでは、作品の資質の高さが認められ、毎年優秀な成績を収められています。

歌集のタイトルは、美代子さんというお名前と時の流れを意味する暦とをつなげて「みよこよみ」とネーミング。上から読んでも下から読んでも「みよこよみ」という回文仕立てにして、少しだけ遊び心を加えたのだとか。

作歌を始めて19年を経ての歌集の刊行は、誰もが待ち望んでいたに違いありません。



■ 版型: 126×186
■ 頁数: 186頁
■ 製本: 上製本
■ 定価: 非売品



Profile

1949年12月 長崎市生まれ
2000年9月 上川原紀人氏に師事。
同年「あすなろ」入社。
2001年6月 「水甕」入社
2003年1月 あすなろ新人賞受賞
2013年1月 あすなろ賞受賞
2020年現在 日本歌人クラブ会員
長崎歌人会常任委員
水甕同人
あすなろ編集委員

春夏秋冬

はるのこよみ

ひとすじの春は障子のすき間よりひそと入りてわが膝にのる

なつのこよみ

深緑の木陰に座して憩う時やさしき声と人はなりゆく

あきのこよみ

次々と舞台をかえて風と舞う落葉はきままな踊り子となる

ふゆのこよみ

水鳥の幾羽がわれを抱くのか木枯らしの日のダウンコートよ

幸せの種

旅ごころ

風のおと雨だれの音目を閉じて耳をすますとことば生まれる

ながさき

ぽぽぽよとピンクの色を纏いたる桃カステラよ長崎は春

「北前船」が果たしてきた大きな功績があきらかに

〈歴史書〉

北前船

Kitamaebune

増補
改訂版

永田信孝
Nobutaka Nagata

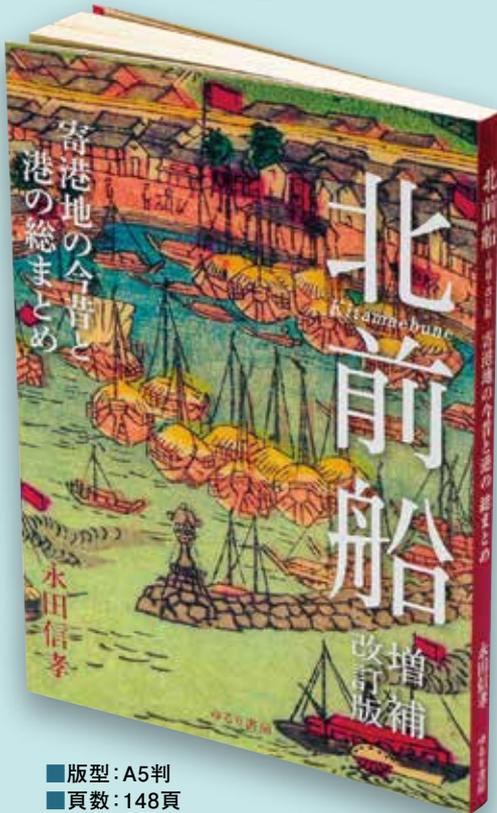
寄港地の今昔と港の総まとめ

江戸時代から明治時代初期にかけ、日本海、瀬戸内海で活躍した「北前船」。

北海道、東北地方などから南方へ、魚類、米、木材など農林水産物を運び、大坂、兵庫津などから北方面へ、醤油、塩、綿、紙類、瀬戸物、小間物など生活必需品を運んでいました。そして、それとともに、多くの船員たちが、多様な文化を全国に伝播させてもいました。

近代日本の基盤を築いたのは「北前船」であることを、ぜひ皆さんに知ってほしいという、作者の情熱が強く感じられます。

本質に近づけられるように
現地調査を行った増補・改訂版



- 版型: A5判
- 頁数: 148頁
- 製本: ガンダレ製本
- 定価: 1,980円税込



加州金沢より武州江戸に至る
下通山川駅の図(部分)
正徳2年(1712)有沢永貞作画
(富山県立図書館 所蔵)



土崎湊「秋田街道絵図」部分 荻津勝孝
(秋田市立千秋美術館 所蔵)

平成27年に発刊した
「北前船」



Profile

1950年 長崎市生まれ
 1969年 長崎南高卒 駒澤大学文学部地理学科入学
 1975年 駒澤大学大学院人文科学研究科地理学専攻修了
 1975年 長崎県立高校教師として勤務
 国見高、上五島高、島原高、長崎南高、諫早東高、
 長崎西高、川棚高、西陵高を歴任
 元長崎純心大学非常勤講師、元長崎大学非常勤講師

楽しく料理いたしましょう

〈料理本〉 Ecchan's Recipe

えっ
舘ちゃんの
献立表

竹松 舘子
Etsuko Takematsu

竹松さん家の食卓は、
畑の恵みと磯の香でぜい沢で～す

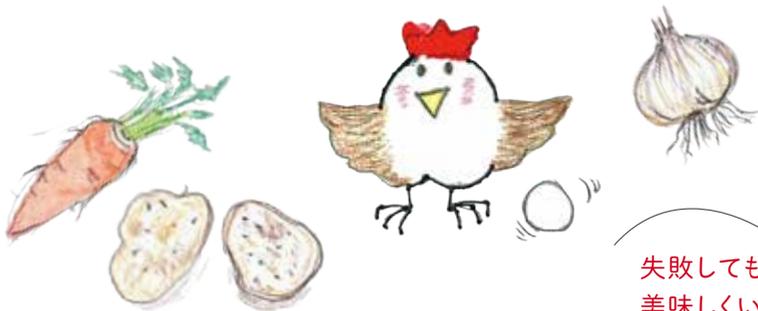
お料理上手で美味しい料理を振る舞うことが
大好きな、舘ちゃんこと竹松舘子さん。

家庭菜園で獲れた季節の野菜とご主人が釣って来る
魚を中心に使ったとっておきのメニューが次々に生み
出されます。

そんなレシピの数々に、趣味の絵手紙教室で学んだ
ほのぼのとした素敵なイラストが添えられて、楽しい
一冊に仕上がりました。



- 版型: B5判
- 页数: 64頁
- 製本: 上製本
- 定価: 非売品



失敗してもいい、
美味しくいただければ
作るのが楽しくて
食べてくれる人の
笑顔を見たくって





- 版型: 210×270
- 頁数: 90頁
- 製本: 上製本
- 定価: 2,530円税込

「子どもから大人まで楽しめる絵本」
長崎の新たな歴史の発見を！

〈絵本〉

長崎由来の 古典落語

絵本三部作

西村 仁 Shinobu Nishimura

ある時、落語を聞いていると、あれ、この噺は長崎が舞台で、長崎に由来する噺じゃないかなと気づいた西村仁さん。そこで、ちょっと調べてみると、長崎の歴史に由来するものが幾つかあって、落語も好きだし、歴史も好きだということで、三つを融合して「長崎由来の古典落語」という絵本を考案しました。

コンセプトは、「子どもから大人まで楽しめる絵本づくり」。長崎の歴史はやっぱり面白いね、落語の背景はそうだったのかと分かってもらえるように、工夫が盛り込まれています。

Profile

長崎市生まれ、生まれつき怠け者で、酒を飲み、ゴルフや魚釣りをして遊ぶことが大好きだった。ところが、10年ほど前に病気をし、外で遊ぶ体力がなくなった。そこで、趣味として絵を描き始め、今回は絵本作りに挑戦してみました。気楽に楽しく笑って頂ければ嬉しい限りです。



〈医療ハンドブック〉

食べる大切

ST(言語聴覚士)の現場から

大場 章夫

Fumio Oba

本書は肩肘張らず、病院や高齢者、介護の現場で、口から食べることの大切さをもう一度考え、見つめなおすきっかけづくりの本です。作者は、言語聴覚士(ST=speech language hearing therapists)になって10年以上。今一度、経口摂取の大切さを見つめなおす何らかのヒントになれるように、人間としてかけがえのないものにどう向き合うか議論していただけるようにという、プロとしての熱い願いが込められています。

(本文より)

言語聴覚士という仕事の宿命

寝たきりで、経鼻経管栄養や点滴の管、尿管につながれた重症の患者さん。そのような方をお見舞いにこられた方が部屋を出るときに何と言うか。「口から食べられるようになってくださいね。早く、鼻の管が取ればいいですね」このようなことを言って帰られる見舞い客の方が多いように感じます。

ある病院の院長先生から「口から物を食べないのに、何で立つ練習、歩く練習、手を動かす練習をしようと思うか。だからリハビリは ST からだ」と言って頂きました。

このような事があるからと言って、私は ST が他のリハビリ職 (PT、OT) より優れているとか、尊いとかいうつもりは微塵もありません。だけれども、言語聴覚士にはこういう側面、責任、使命があることを忘れてはいけないと思います。



病院・介護施設で働く方へ、それを志す方へ！

- 版型: 126×186
- 頁数: 122頁
- 製本: 並製本
- 定価: 1,485円税込

Profile

昭和59年生まれ
平成18年 言語聴覚士免許取得
趣味 家庭菜園



食べる大切

ムセないから大丈夫？

食事介助をする際に「ムセ」は重要な指標です。ムセは、食事が間違っただけで気遣い入らうとしないことを判断する適切な指標です。一方で、高齢者の方の中には誤嚥しているけどムセない人がいます。知覚の低下から誤嚥していることに気づかない場合や、ムセる力が無い人です。このムセない誤嚥のことをサイレント・アスピレーション (不顕性誤嚥) といいます。なので何度も誤嚥性肺炎を繰り返す人や高齢者の食事を見る際に、「ムセていないから大丈夫」の考えは危ないと思いますので注意深く状態観察をしましょう。



64

65

ではどうやって、不顕性誤嚥を食事現場で見つけるか。①呼吸状態、②声の変化、③血中酸素飽和濃度、④喉頭雑音の有無、⑤顔面観察など、これらを注意深く観察する必要があります。臨床現場で、このサイレントアスピレーションを食事介助や食事観察のみで見発するのはかなり難しいと思います。

噛んで美味しい物を

単に食べ物を飲み込むだけでなく飲み込みの力で片付きませます。また、ミキサー食、キザミ食、ソフト食が、本当に本人が望む食べ物でしょうか (もちろん最近では調理の方の努力でこれらも以前よりかなり美味しく食べられます)。やはり、噛んで食べることも食欲を増進させると思います。私の好きな食べ物、刺身(コリコリした活きのいい)、鳥の唐揚げ、焼き鳥、そしてお米、種類も好きですが、ご飯は少し固め、麺は素麺、うどん、ラーメン、パスタ全て湯がき足りないくらい固いのが好きです。どれも歯でしっかり噛むのです。少し歯ごたえがあり、咀嚼して食べる食べ物が好きだという



80

81

方は少なくないでしょう。この噛む力、非常に評価が難しいのです。あるにはあるのですが、大学病院や研究所などにある程度で、あまり普及していません。一方で噛む力を評価するガム・グミがあります。グミはユニバーサル噛む力です。数百円程度で (時間・手法において) 手軽で被験者への負担が小さいメリットもあります。指示理解がしっかりできる人、その結果が即、その人に合った食事形態とイコールにならないという欠点もありますが、噛む力を客観的に手軽に測定できない中、このような商品の普及は大いに歓迎されるべきです。これらのさらなる臨床応用を期待しています。

ありのままに綴ってきた50年

〈エッセイ集〉

つれづれ記

投稿50年のあゆみ

浅田 恵子 Keiko Asada

50年という長きに渡り、長崎新聞「えぷろん」と「声」への投稿を続けてきた軌跡です。

子育てから始まって、四人のお孫さんたちとのふれあい、ご夫婦共通の趣味の山歩き、ウォーキングの喜びなど、いずれも心温まる作品ばかり。旅先での写真や家族新聞なども掲載して50年の思い出を一冊に。日々の喜怒哀楽が丁寧に綴られています。

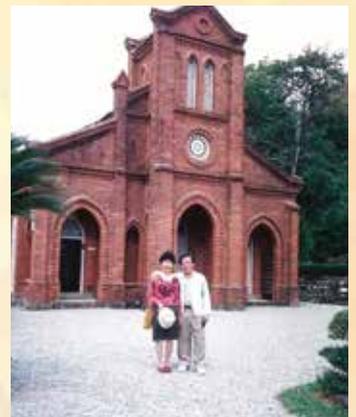
つれづれ記(本文より)
日が満ちて生まれたというのに一七七〇の低い体重で命を授かり、周囲のものをだいぶ心配させた長女も、小粒ながらこの十六日で元気に満二歳の誕生日を迎え、着せてもらった着物や髪のリボンをととても喜ぶおしゃまな女の子になった。
そしてこの子がちょうど生後六カ月を迎えた日、ベッドの上で初めて一人で起き上がりハイハイの姿勢のままフウフウいって泣いているのを知ったときの驚きと感激を、「トランジスタ」と題して記したことに始まる私の「つれづれ記」も昨年暮れで四〇年のノート一冊をちょうど使い終わり、新年とともに新しい二冊目を手にした。
結婚以来三年ばかりの共かせぎや二人の子の次々の誕生など、あわただしさにまぎれて、それまで十年来続けてやめていた日記を、再び二人の子の成長の記録として記していきたいと思いつち、日々の感想や子を詠んだ歌、子供のひとり事

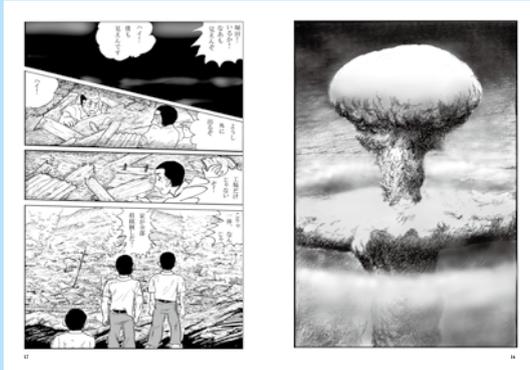
やなにげない語らいなど、おりにふれて記している。
近ごろでは三歳の長男も私がノートを広げていることを知ると、わきにすわって「お母ちゃん、モウモウシさんを見てきたことを書こうか」などと言いながら、自分のおもちゃ箱から紙と鉛筆を持ってきて「きょうお買い物するとき、畑の道でモウモウシさんを見ました」などと、一心に言いながら広告の裏などに書けもしない字をなにやら走らせてまねるようになった。三歳と二歳の年子を抱えて、おこったりなだめたりで、戦いのような毎日だが、そんな中でも、つとめて自分を取り戻す時間を持ち、こころは例年にもまして、せつせと書きつづり、二人の子の記録を積み重ねていきたい。そして、この子たちの入学のおりにでもガリバン刷りにでもして記念の文集でも作ってみたいなどと考えている。

昭和47年1月28日(27歳)



■ 版型: A5判
■ 頁数: 282頁
■ 製本: 上製本
■ 定価: 非売品





- 版型: B5判
- 頁数: 96頁
- 製本: 並製本
- 定価: 非売品

平和の大切さを伝えるために
叔父の被爆体験を漫画に

〈漫画〉

夏の日ピリオド

原作 吉里正勝 Masakatsu yoshizato

画 吉田直 Nao Yoshida



絵が好きで中学生の頃から漫画を通信教育で勉強し、イラスト業や漫画家のアシスタントの経験もあるという吉田直さん。家族を原爆で失った母の話を聞いているうちに、いつか原爆のことを漫画で伝えたいと考えていたそうです。

そして、今回、被爆した叔父吉里正勝さんの体験をもとに漫画にしました。

若い人に読んでもらい、今の平和は当たり前ではなく、多くの犠牲の上に成り立っていることを知ってほしいと思っているそうです。





長崎の造船所



雲仙地獄



断崖



西浜町電停



川原大地5月



田平教会

【追悼】

長崎県を中心に各地の風景を描く

長崎を描いてさるく

日本水彩画会会員 松林重宗画文集

温かいまなざしで、奇をてらうことなく素直に



松林重宗さんは令和2年10月26日、84歳でお亡くなりになりました。長崎で生まれ育ち、中学1年の夏休みに描いた数点の水彩画を先生に褒められ、以来励まし続けられて絵画の虜になったとのこと。長崎大学（薬学部）を出て市役所に勤めること30有余年、その間勤務に打ち込んでいても水彩絵の具と紙は手離さなかったそうです。

水彩画の透明画法に徹してデッサンを学び、無理な厚塗りをせず精進。そして確かなデッサンに裏打ちされた構成と穏やかな色調で描かれた、画面に情感がある作品の数々。どんな対象でも温かいまなざしでそのよさを見出し、奇をてらうことなく素直に描くから、見る人にそれが伝わります。

松林 重宗 画歴

- 昭和11年(1936) 1月1日長崎市戸町生まれ
- 昭和36年(1961) 長崎大学薬学部卒業、長崎市役所勤務
- 昭和48年(1973) 長崎県展初入選
- 昭和49年(1974) 日本水彩展初入選
- 昭和56年(1981) 示現会展初入選
- 昭和58年(1983) 示現会会友推挙
- 昭和62年(1987) 日本水彩画会会友推挙
- 平成元年(1989) 示現会準会員推挙
- 平成7年(1995) 日本水彩画会会員推挙
- 平成8年(1996) 長崎市役所を退職し、長崎県美術協会事務局へ
- 平成11年(1999) 長崎県美術協会事務局を退任、同協会理事
- 平成12年(2000) 長崎県展審査員
- 平成13年(2001) 長崎県展実行委員
- 平成14年(2002) 長崎美術協会副会長、長崎県展実行副委員長
- 平成20年(2008) 「松林重宗水彩画集」を発行
- 平成23年(2011) 日本水彩展審査員、一水会展入選
- 平成24年(2012) 「長崎を描いてさるく」を発行



印刷文化の伝承

昭和堂創業70周年に感謝を込めて



株式会社昭和堂 相談役
永江 正國

今年九十五歳になる私が印刷業を営んだのが七十年前、戦後の混乱も収まった昭和二十六年、二十三歳の時です。「印刷は文化の橋渡しである」との強い思いは持っていました。戦争が拡大していく中、諫早尋常小学校高等科卒業と同時に大刀洗陸軍航空廠技術者養成所に入所、その年十二月に真珠湾攻撃による太平洋戦争が勃発。その後大村海軍航空廠機体工場に勤務しました。

戦後は三菱長崎造船所に勤めました。生活闘争ゆえの組合活動を行い、レッドパージにかり退職せざるを得なくなりましたが、次の就職活動が儘ならない。仕方なく組合活動の時に培った謄写版印刷技術を頼りに印刷会社を興したのが実業家としての出発です。まさに文化とは全く縁のない、喰わんがための鉄筆一本のスタートでした。

創業間もなく、諫早市教育委員会が主催する「成人学校」で謄写技術指導員として要請を受け、多くの先生や役所の皆さんに指導させていただきました。このことが多くの方々との人脈の礎となり、印刷技術が地域文化へ深く貢献できることを強く感じるきっかけとなったと思います。

長崎は日本近代印刷発祥の地であり、その始祖として本木昌造翁の存在が広く知られています。それより二八〇年も前に西洋活版印刷技術をポルトガルより持ち帰った諫早生まれのコンスタンチノ・ドラードについて知る人は少ないと思います。そういう私自身もドラードのことを知ったのも、印刷業を始めて五十年近く経った頃で、印刷文化史研究家の青山敦夫氏が来社され、ドラードの顕彰を依頼された時です。ドイツのグーテンベルクが発明した活版印刷技術を持ちかえってきたドラード少年の勇氣と壮絶なる人生を知ることとなり、日本の印刷文化の発展に貢献した彼の功績を皆さんに知っていただきたいと思い、創業五十周年を機会に、ドラードの顕彰像を二体作製し、一体は諫早市立図書館に寄贈させていただきました。

印刷技術は元来宗教の布教活動と歴史の記録など文化の伝承に最適な道具として長い人類の歴史の中で発展してきました。私自身、多くの文化出版などを行い、長年文化の発展のお手伝いをさせていただきました。社業ではこの七十年間、謄写版印刷からスタートした我が社も年々高度化していくデジタル技術を取り入れながらお客様へのお役立ちを変化させています。SNS流行りで情報伝達手段が大きく変化している現在ですが、少しでも印刷特有の技術とお役立ちで、これからも文化発展への貢献ができたらと切に願っております。



農魂 80年の歩み



著者 藤川 正男

- 版型：A5判
- 頁数：102頁
- 製本：並製本
(カバー付)
- 定価：非売品

歌集 わすれなぐさ



著者 森 夏實

- 版型：A5判
- 頁数：58頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：非売品

長崎くんち 奉納踊の軌跡

諏訪神事踊の系譜 近現代篇



著者 土肥原弘久

- 版型：A5判
- 頁数：190頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：2,200円 (税込)

心の平和



著者 ジャック・フィリップ
訳 戸口民也

- 版型：B6判
- 頁数：134頁
- 製本：並製本
- 定価：非売品

蒼き水面

闘病を支えた介護記録



著者 中村千恵子

- 版型：B5判
- 頁数：142頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：非売品

内的自由

信仰・希望・愛の力



著者 ジャック・フィリップ
訳 戸口民也

- 版型：B6判
- 頁数：190頁
- 製本：並製本
- 定価：1,320円 (税込)

いのちの幻影 豊田主税遺稿集



発行者 田中 牧子

- 版型：A5判
- 頁数：30頁
- 製本：並製本
- 定価：非売品

被爆75周年記念誌 核兵器終わりの始まりへ！



発行：
長崎県動員学徒犠牲者の会
長崎県被爆者手帳友の会

- 版型：B5判
- 頁数：134頁
- 製本：並製本(カバー付)
- 定価：非売品

令和三年の長崎精霊流し

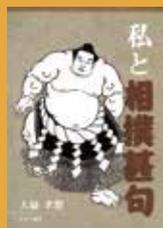
コロナ禍における夏の風物詩Ⅱ



著者 土肥原弘久

- 版型：A5判
- 頁数：46頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：非売品

私と相撲甚句



著者 大嶽 孝澄

- 版型：A5判
- 頁数：154頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：非売品

方言の由来



著者 緒方 隆一

- 版型：A5判
- 頁数：208頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：1,540円 (税込)

句集 ものの芽



著者 川上 典子

- 版型：B6判
- 頁数：46頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：非売品

俳句・短歌集 「今を生き…」第3章



著者 久田浩一郎

- 版型：B6判
- 頁数：108頁
- 製本：並製本
(カバー付)
- 定価：非売品

歌集 ころろ織りなす



著者 森 友子

- 版型：A5判
- 頁数：194頁
- 製本：上製本
(カバー付)
- 定価：非売品

夕暮れの走者

渋谷直人詩文集



著者 渋谷 直人

- 版型：四六判
- 頁数：208頁
- 製本：並製本
(カバー付)
- 定価：2,640円 (税込)

壱岐の島の漁村に生きて

勝本浦の昭和・平成の記憶



著者 松尾満里子
松尾 營子

- 版型：B5判
- 頁数：148頁
- 製本：並製本(カバー付)
- 定価：1,980円 (税込)

戦争と平和を考える 磨屋小で学んだ私の世代



著者 西村 正義

- 版型：A5判
- 頁数：102頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：非売品

日本の近代化を揺籃した 長崎・浪の平と小曾根乾堂



著者
浪の平歴史探訪の会

- 版型：A5判
- 頁数：196頁
- 製本：ガンダレ製本
- 定価：1,500円 (税込)



きいてね!!

第1・3火曜
あさ11:20より
放送中

『昭和堂笑顔のレシピ』

あなたの本や作品をラジオで紹介します!!

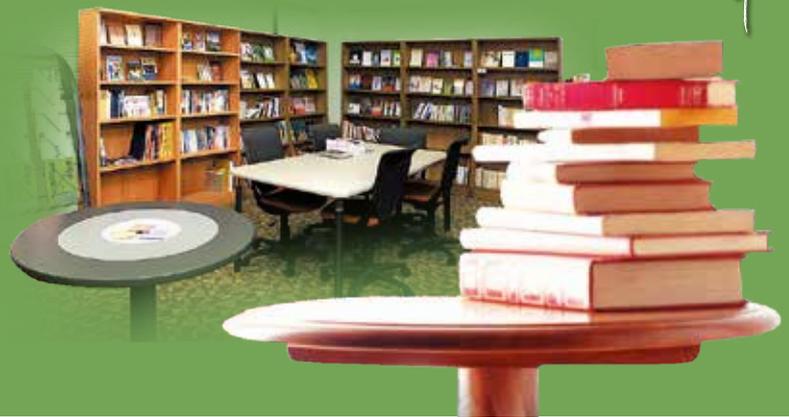


あなたの想いを本にしませんか



『ゆるり』とは、囲炉裏の意味。

囲炉裏を囲むように、
皆さんで集まっていたける空間に…
との願いが込められています。
和の雰囲気を感じられる空間で、
ゆっくりゆるりと、本づくり談義に
花を咲かせてみてはいかがでしょうか。



めがね橋電停そば
ファミリーマートより
入って左側すぐ



自費出版サロン

ゆるり

TEL.095-828-1790

FAX.095-823-8740

<http://www.showado.co.jp>

〒850-0875
長崎市栄町6-23
昭和堂ビル2F



サロンの紹介をはじめ
本づくりの体験記や
情報誌ゆるりの
バックナンバーも
ご覧いただけます。

自費出版サロンゆるり ホームページはこちらから➡
<http://www.jihishuppansalon.com/>



team NAGASAKI SAFETY



マスク飲食にご協力をお願いします。

自分
だけでは
ない!

周りのお客様・飲食店スタッフも
感染リスクが高まります!

01 正しい「マスク飲食」の方法



料理が来るまでは
必ずマスクを着用



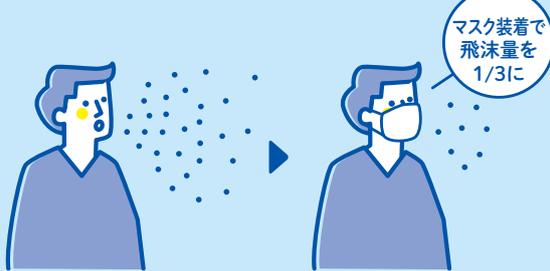
食事中は
会話を控えて



会話をする場合は
再びマスクを

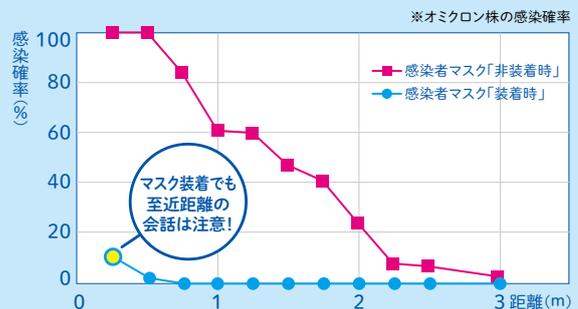
正しいマスク飲食で、感染リスクを減らしましょう!

02 マスクは飛沫量を1/3に抑える!



会話することでリスクが高まる飛沫感染。人が大声で1分間会話をした場合、約「2万5000個」もの飛沫が発生するといわれています。マスクを着用することで、漏れ出る飛沫量を1/3程度に抑えるとともに、飛散距離を減らすことができます。

03 マスクあり・なしではここまで違う!



感染者がマスクを着用していても、**50cm以内**に近づくと感染リスクは高まる!

提供: 理研・神戸大、協力: 豊橋技科大・大王製紙・京工織大・東工大・九大

参考: 坪倉誠(理研/神戸大) 富岳コロナ対策プロジェクト飛沫感染チーム、「室内環境におけるウイルス飛沫感染の予測とその対策」 協力: 豊橋技科大・大王製紙・京工織大・東工大・九大

安心・安全にお食事をお楽しみいただくために、
皆さまのご協力をお願いいたします。

ながさきコロナ対策飲食店認証実行委員会

チーム長崎
セーフティの
活動については
右記より

